

1. 産業標準案の番号及び名称

規格番号 JIS G1222

規格名称 鉄及び鋼-コバルト定量方法

2. 主務大臣

経済産業大臣

3. 廃止の理由等に関する事項**(1) 廃止の理由**

JIS G 1222:1999は、鉄及び鋼中のコバルト定量方法を規定したもので、4種類の定量方法を規定している。現行規格は、1999年に改正されて以降、約25年間経過した。この間、対応国際規格であるISO 11653は改訂されていない。しかしながら、関係するJIS Z 8402規格群及びJIS G 1257規格群が制定、JIS G 1201が改正され、許容差の計算方法、原子吸光分析方法、分析方法規格に要求される事項などが変化してきたため、技術的内容を見直す必要がある。

見直しにあたり、“複数の分析方法が規定されている規格を改正する場合には、分析方法ごとに部編成規格として制定する”とした、原案作成団体（日本鉄鋼連盟標準化センター 鋼材規格及び原料規格検討会）の統一見解に従い、新たに次のように3分割して制定するとともに、この規格を廃止する。

第1部：1-ニトロソ-2-ナフトール沈殿分離四酸化三コバルト重量法

第2部：吸光度法

第3部：イオン交換分離電位差滴定法

(2) 規格の移行先

G1222-1

G1222-2

G1222-3